

=====

日本ガラスクリーニング選手権
全国統一審査規定

=====

2023年 4月 改定

一般社団法人 全国ガラス外装クリーニング協会連合会
選手権競技委員会

＜全国統一審査規定＞

この審査規定は、(一社)全国ガラス外装クリーニング協会連合会が関連する「日本ガラスクリーニング選手権」(予選・本選)、その他関連大会において準用する。審査規定の変更を行う場合は、大会開催6ヶ月前までに選手権競技委員長が広く告知しなければならない。

1. 競技規定

競技台：1,040mm×1,150mmの窓枠付き3連窓ガラス
(窓枠から15mmはセーフティゾーン)

地面よりガラス面下部までの高さは780mmとする

競技ガラスの縁の高さは20mmとする

スクイジー：全長300mm以内(持ち込み可、スクイジー規定参照)

シャンプー：選手権競技委員会で指定したもの 全長350mm以内

(含水重量は乾燥重量プラス120g以上、シャンプー規定参照)

洗剤：選手権競技委員会で指定したもの

(※大会6ヶ月前にメーカー、銘柄を告知する)

中性洗剤～弱アルカリ洗剤 500倍希釈

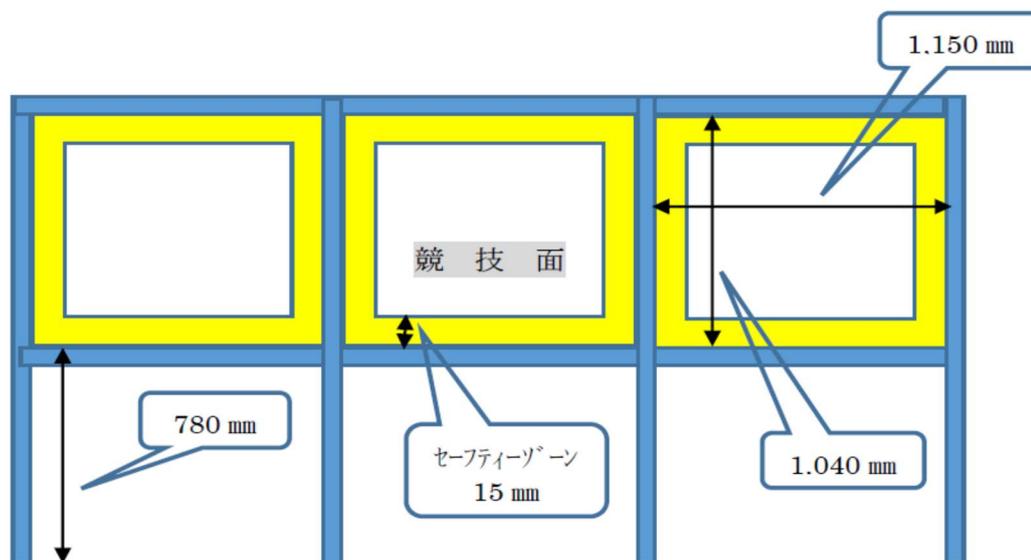
例：水 10リットル 洗剤 20ミリリットル

(但し、環境によって変動あり)

その他メーカー洗剤の場合、推薦希釈倍率に準じて

倍率変更の際は・大会6ヶ月前に告知する

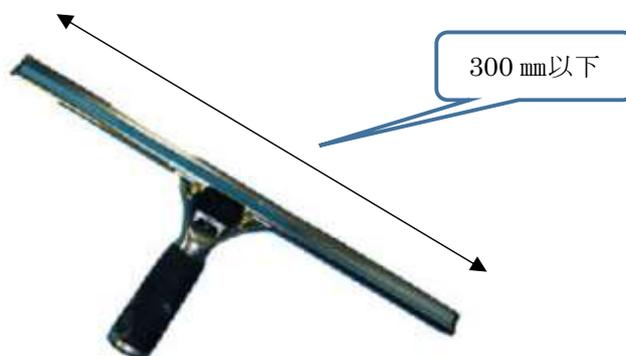
洗剤の交換は、競技者20人を目安に実施する



2. スクイジー規定

チャンネル：市販の物とする（または選手権競技委員会が用意したもの）
金属製（真鍮、ステンレススチール、アルミニウム等）
または樹脂製とする
チャンネルがゴム等で覆われたものも可
全長を300mm以下とする（ゴム、エンドクリップの長さ含む）

ハンドル：市販の物とする（または選手権競技委員会が用意したもの）
チャンネルが洗浄水を回収するための操作を行なうものとする
グリップ自体に洗浄水を回収する機能を有していないこと



- 上記規定以外のスクイジーを競技に使用することはできない。
- 選手は競技開始前に使用スクイジーを申告し、大会専用スケールで規定に則しているか自ら確認・判断を行わなければならない。
- 大会運営中において選手は、規定に則しているかの良否について審査員に話かけてはならない。
- 選手は、審査員の良否判定（赤白旗）を確認し、否判定をうけた場合、再計測を速やかに行う。
- スクイジーはあくまで対象面（ガラス）に残存する水分の回収を用途とするものでなければならない。対象面を洗浄する（シャンプー等）作用や能力を有しているものは対象外とする。
- 競技中はあくまで洗浄水を回収するために使用するものとし、それ以外の目的に使用された場合はトライアルが無効となる。
- シャンプーのもつ、対称面を濡らす作用（洗浄）を持ち合わせてはならない。
- 予見の範囲を超えたスクイジーであった場合（想定外であった場合）は選手の競技が終了後であっても、オフィシャル（ジャッジ）が協議し、結果不適

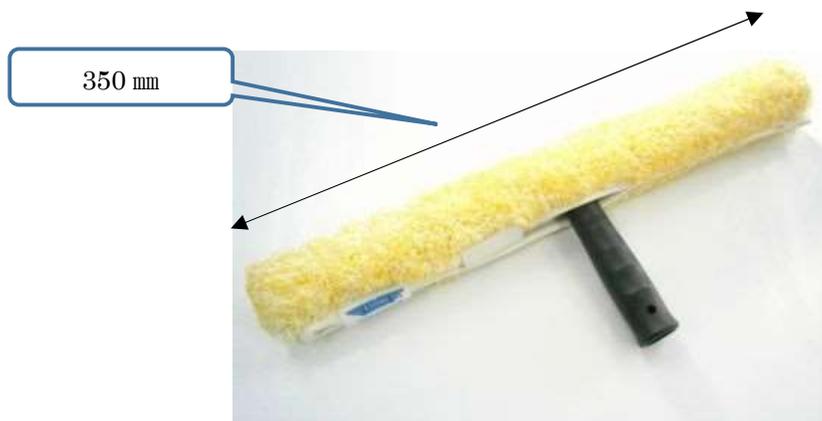
切と判断した場合は、その競技を無効にすることができる。

3. シャンプー規定

選手権競技委員会が指定した市販の350mmのものを使用する

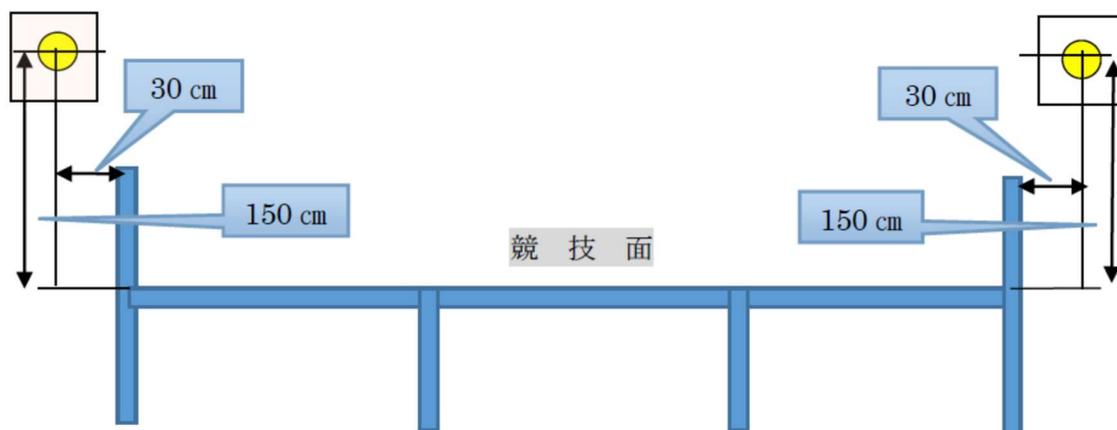
含水重量は乾燥重量プラス120g以上とする

また、含水重量の調整は選手の手以外を使わないものとする



- いかなる場合も、シャンプーカバーはホルダーから取り外してはいけない。
- 取り外した場合は失格とする。
- 選手は競技開始前に大会側が用意したシャンプーを選択し、計量器で規定に則しているか自ら確認・判断を行わなければならない。
- 計量後シャンプーを振ったり、カバーを触ったり、シャンプーを服に付けたりの場合は、審査員は再度計量をやり直しの指示をする。
再三の指示をしても是正が見られない場合は、失格とする。
- 大会運営中において選手は、規定に則しているかの良否について審査員に話しかけてはならない。
- 選手は、審査員の良否判定（赤白旗）を確認し、否判定をうけた場合、再計量を速やかに行う。
- 大会開催場所の環境（高気温、日差しが強いなど）によりシャンプーの乾燥が早く含水量の調整などが必要な場合は、リセットタイムを設けるなどして選手権競技委員会で協議し、含水量の増減を5g単位で変更することができる。
(規定の含水量のシャンプーで競技ガラス1枚をすべて濡らし、10秒放置し、乾燥箇所が出来た場合)

4. スイッチボタンの配置



スイッチボタンの中心を競技台ガラス面より150cm後方、さらに90°外側に30cmの位置に配置する。また、ボタンの高さは90cmを目安とする。配置に関しては開催会場の状況により若干の変更を行うことがある。

5. ユニフォーム規定

1. 選手は、自社の作業服を基本ユニフォームとし、清潔感ある服装とする。
2. 選手は、ガラスクリーニング作業に適した服装および靴等を着用すること。
3. 各協会でもユニフォーム作成の際は、全員を統一し、上記に照らし合わせ清潔感ある服装とする。
4. 選手は選手権競技委員会が、指摘・指導した服装に関しては、すみやかに変更しなければならない。
5. 上記に違反した者は、選手権競技委員会の判断において、失格・退場処分にする。
6. 手袋の着用は可とする。

6. 異議申し立て

1. 選手の競技得点について一度決定されたものは如何なる理由があろうとも覆すことができない。
2. 審査員により一度決定された事項については、異議の申し立てをすることは出来ない。
ただし、質問等は大会期間中に書面にて受付をおこなう。選手権競技委員会は、即時回答する必要がなく大会終了後、後日回答とする。

7. 規律規定

以下に規律に関するペナルティーを定める。

No.	内容	処分
1	競技進行を阻害した場合	失格 退場
2	審査員に対する暴言・暴行を行った場合	失格 退場
3	会場内での罵声等の行為を行った場合	失格 退場
4	大会本部スタッフに対する暴言・暴行を行った場合	失格 退場
5	大会備品の損傷・汚損・盗難等の行為を行った場合	失格 退場
6	大会本部支給のゼッケン規定外着用又は不着用	失格 退場
7	酒気を帯びての出場	失格 退場
8	メディア関係者への暴言・暴行を行った場合	失格 退場
9	大会本部要請ミーティング等の無断欠席	失格
10	大会本部要請表彰式の無断欠席（表彰対象者）	各賞没収
11	エントリー等、競技進行手続きの延滞	失格
12	大会本部規定外の用具の使用	失格 退場
13	品行によるガラスクリーニング業界のイメージを著しく害した場合	失格 退場
14	競技をやり直すためのボタン操作と判断した場合	失格 退場
15	ユニフォーム規定において認められないと判断した場合	失格 退場
16	その他規定外の行為を行った場合、または選手権委員長が適切でないと判断した場合	失格 退場

8. 審査員・スタッフの役割・規定

各スタッフは、それぞれの役割を熟知し、公平な審査を行わなければならない。

- **審査委員長** (ジャッジマスター1名)
審査委員長の責任のもと、競技運営を統括する。
- **審査員** (ジャッジ) (3名+補助員1名)
選手が競技を終えた後、ガラス面に残ったペナルティーを集計する。
競技中は、シャンプー不通過をチェックする。
- **ジャッジペーパー搬送員** (1名)
審査員が記入したジャッジペーパーを回収し、速やかに集計員に渡す。
- **集計員** (テクニカル) (3名~5名)
パソコン画面 (選手の紹介画面・ストップウォッチ画面・トータルタイム画面等) の切り替え、審査結果のシステム入力を行なう。
集計員は審査員が記入したジャッジペーパーを確認し入力する。
(管理用メインパソコン1台、表示用パソコン1台、入力用パソコン1~3台、予備パソコン1台、1~2台でも入力可能)
データクリアの際に備えて、集計員はバックアップを取っておく。
競技開始前、競技中にスタート・ストップボタンの未作動時には、ストップウォッチボタンの作動確認をする。
- **計量・計測審査員** (1名)
次選手の呼び出しをおこない、計測・計量を準備させる。
スクイジー及びシャンプーの計測結果を赤白旗で良否判定する。
計測判定後は呼び出しがあるまで競技者を静かに待機させ、道具は計量器に置いたままにさせておく。
- **ボタン審査員** (ボタンジャッジ) (1名)
スタートボタン、ストップボタンの作動確認、選手の動作を確認する。
不正・不具合の場合は、すぐに笛と旗で選手に警告をうながす。
競技開始前、競技後にスタート・ストップボタンの未作動時には、ストップウォッチボタンの作動確認をする。
スタートの合図の笛をならす。(もしくは司会者が笛をならす。)

・リセッター員（3名）

競技終了後、使用した道具を速やかに回収し、計量・計測員へ受け渡す。
審査員の指示のもと、競技前後にガラス面をウエスでリセット及び床面の状態を確認する。

9. 審査員・スタッフ心得・規定

- ◎ 公平な審査を心がける。
- ◎ 審査委員長は競技中断・失格等の場合はそのつど進行を中断し、理由説明をおこなう。
- ◎ スムーズな大会運営に努めるようスケジュール・役割を熟知しておく。
- ◎ 大会運営スタッフ・審査員は選手に対して、私語は慎むよう心がける。
- ◎ 審査員（ジャッジ）は競技台より、2 m程度離れた箇所に位置して、シャンプー不通過確認に努める。
- ◎ 審査員は競技中にシャンプー不通過の確認し、競技後に残留ペナルティーを確認する。
- ◎ 審査員は競技中にジャッジペーパーへの記入は行わない。
(選手の競技を妨げない)
- ◎ リセッター員は審査員の指示以外は審査の妨げになる行為は行わない。
審査員の指示があるまで競技台、ガラス面は触れず静かに待機する。
(勝手にジャッジして審査員に指示を促さない。)
- ◎ 審査員、集計員は1名を補助員として設置して、不測の事態に備える。

＜全国统一ジャッジ基準＞

1. フライング・ボタン動作罰則

+2.0 秒

スイッチボタンを手のひら（指先から手首まで）以外で押した場合

（1回につき2秒加算）

スクイジー・シャンプーで押す、または道具を持った手で、スタート・ストップボタンを押す（1回につき2秒加算）

スタートボタンの押し忘れ・未作動（1回目はリスタート、2回目以降は2秒加算）

※ システム上のトラブルとみなされるものはペナルティーなしで再競技。

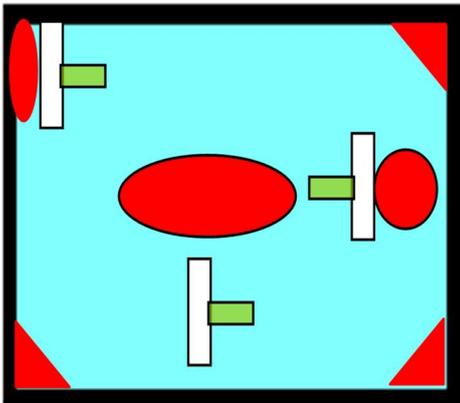
2. シャンプーのガラス面不通過

+0.5 秒

ガラス面をシャンプーが通らなかった箇所（各箇所ごとに0.5秒加算）

シャンプーが通らない箇所が著しく大きな場合は、ガラス1枚に対し+5.0秒とする。

※ 全面をきちんと塗る意思が感じられない場合、審査員の判断で+10.0秒

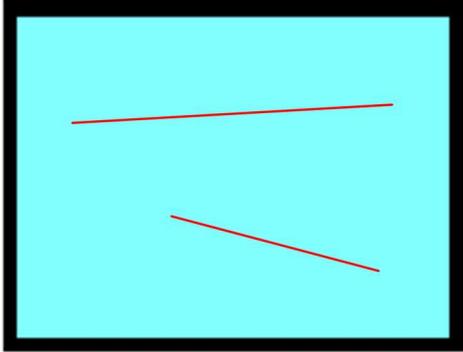
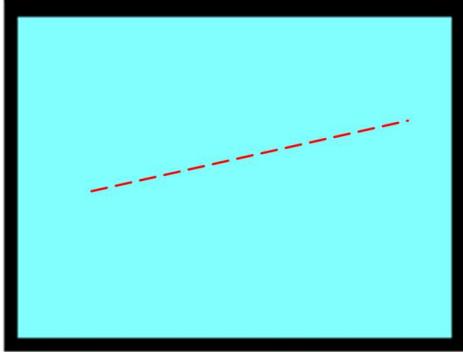
	<p>注意箇所 スタート部分 各コーナー 切り返し部分 シャンプーが重なる中央部分 各箇所ごとに0.5秒加算 著しく大きな場合は ガラス1枚に対し+5秒 全面をきちんと塗る意思が感じられない場合、 審査員の判断で+10秒</p>
-------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3. ライン

+0.5 秒

太さが 2 mm未満のライン

同一ライン上のものは途中で切れていても 1 本とみなす

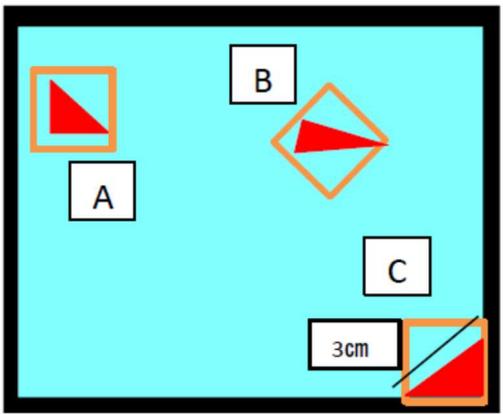
	
太さが 2 mm未満のライン 長さに関係なく 1 本+0.5 秒 図の場合は 2 本	同一ライン上のものは 1 本とみなす

4. 拭き残し 3cm×3cm 未満

+0.5 秒

ジャッジスケールの 3 cm×3 cmのマスに収まるもの

10 箇所以上の場合は+5.0 秒

	 ジャッジスケール 3 cm×3 cm 3 cm×3 cmのマスに収まるもの 10 箇所以上の場合は+5.0 秒 A 3 cm×3 cm未満 +0.5 秒 B 3 cm×3 cm未満 +0.5 秒 C 3 cm×3 cm未満 +0.5 秒
-------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5. 拭き残し 3cm×3cm 以上

+1.5 秒

ジャッジスケールで計測し、3 cm×3 cmのマスに収まらないもの
一番長い直線で 15 cmごとに+1.5 秒

	<p> ジャッジスケール 3 cm×3 cm</p> <p>3 cm×3 cmのマスに収まらないもの 一番長い直線で 15 cmごとに 1.5 秒</p> <p>A 3 cm×3 cm以上 +1.5 秒 B 3 cm×3 cm以上 +3.0 秒 C 3 cm×3 cm以上 +1.5 秒 D 3 cm×3 cm以上 +1.5 秒</p>
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6. ハネ

+0.2 秒

スクイジー・シャンプーから飛び散ったもの

無数に飛び散ったもので審査中に数えきれないとみなされる場合は、+2.0 秒と
カウントして加算する(箇所数を問わず)

	<p>ケース 1</p>
<p>スクイジー・シャンプー・手から飛び散ったもの このケースは 0.6 秒</p>	<p>無数に飛び散ったもので審査中に数えきれないとみなされる場合は、箇所数を問わず +2.0 秒とカウント</p>

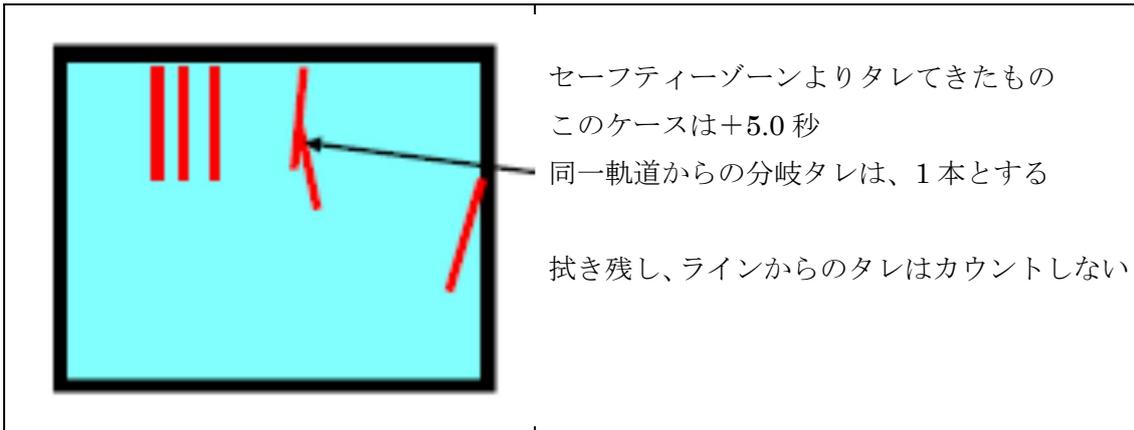
7. タレ

+1.0 秒 秒

セーフティゾーンより垂れてきたもの

多数にわたる場合、5本以上は上限とし、最大で+5.0 秒

※ 拭き残し、ライン、ハネからのタレは、カウントしない

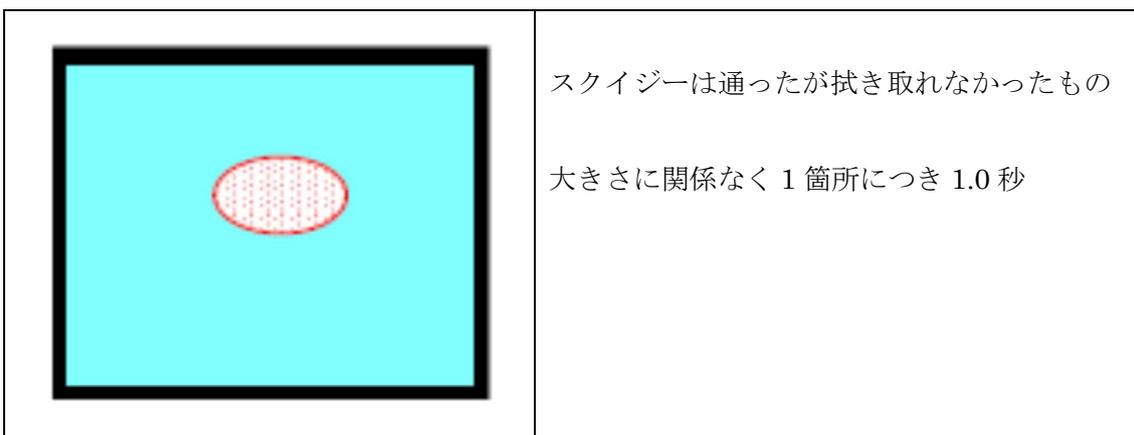


8. かすれ

+1.0 秒

スクイジーは通ったが拭き取れなかったもの

かすれの大きさを問わず 1箇所 1.0 秒する



9. SCORE CARD

ペナルティー表

No.	ジャッジ項目	秒
1	フライング（1回目はリスタート、2回目以降加算） ボタン動作罰則（手のひら以外でのボタン操作、道具を持った手でのボタン操作は1回につき+2秒加算）	+2.0
2	シャンプーのガラス面不通過 1箇所につき シャンプーが通らない箇所が著しく大きな場合は+5秒 全面をきちんと塗る意思が感じられない場合は+10秒	+0.5
3	ライン本数（2mm未満）※長さは関係なし	+0.5
4	拭き残し 3cm×3cm 未満	+0.5
5	拭き残し 3cm×3cm 以上 ※長い辺で 15cm ごとに+1.5秒加算	+1.5
6	ハネ（無数に飛び散ったものは、箇所数を問わず+2.0秒加算）	+0.2
7	タレ本数（5本以上は上限+5.0秒加算）	+1.0
8	かすれ.（1箇所につき 大きさは関係なし）	+1.0